

地域医療（秋田労災病院）

【研修目標】

1 一般目標（GIO: General Instructional Objective）

高年齢者比率が高い地方都市で、住民生活に配慮した医療を行う地域病院の果たす役割について理解する。

2 行動目標（SBOs: Specific Behavior Objectives）

（1）高年齢者特有の疾患に対して、保健・医療・福祉の総合的視点に立って治療を行う。

（2）一次二次救急を行う。

（3）療養型病床、退院後に必要となる介護・福祉の制度について説明できる。

（4）患者の生活面、家族背景を考慮して診療を行う。

（5）地域医療を担うチームの一員として活動する。

【研修方略】

1 研修期間

1 か月間の研修を行う

2 方法

（1）外来にて一般整形外科、運動器リハビリテーション、老年期医療の診療を行う。現症・病歴・家族歴などの情報を集め、診察と検査を行い、診断と治療方針について患者と家族に説明をして、さらに生活環境に配慮した生活指導を行う。

（2）病棟で患者を受け持ち、全身状態を評価し必要な治療を行って、カルテに記載する。在宅環境に応じた退院計画を作成する。

（3）指導医と共に患者及び家族に説明を行い、インフォームド・コンセントやコミュニケーションの取り方を習得する。

（4）患者の尊厳に配慮し、認知症患者を安全にケアできるよう、スタッフと方法を検討する。

（5）カンファレンスで症例の提示、症例の手術に参加し報告を行う。

（6）指導医のもと救急外来（火、木）に参加する。

3 週間スケジュール

（1）月～金 午前8時00分から午後5時00分 フィルムカンファレンス、病棟回診外来、検査、リハビリなど

（2）月 午後3時30分から午後5時00分 リハカンファレンス

（2）月 午後5時15分から午後8時00分 ケースカンファレンス

（3）火、水、木 手術参加

【研修指導医】

院 長 奥山 幸一郎
整形外科 第三整形外科部長 佐藤 千恵

【評価】

- (1) 各研修医は研修到達度の自己評価を評価表に記入する。
- (2) 研修指導医は研修プログラムにおける到達目標に従って、研修期間終了時に、研修医の研修到達度を4段階で評価する。